

平成16年

No.224

波紋



2004 2月
PUBUSHER: 森松株式会社 EDITOR: 梅田文康

「信念会」

2004年のスタートは元日から晴天続きで、恒例の「元気のでる信念会」の開催された1月6日も名古屋では暖かな日となりました。

森会長の「環境万博ともいわれる愛知万博の開催を来年に控えて、地元のプラスチック業界では生分解性プラスチックへの取り組みは不可欠となってきております。2004年を弊社では生分解性プラスチック元年と位置付け、まだまだ市場性の少ない生分解性プラスチックを愛知から全国に向けて大きく盛上げていきたい。」という年頭の挨拶のあと、三菱化学MKV様(株)の山田グループマネージャーの乾杯の音頭で始まりました。

毎回行われる書初めでは申年ということもあり「猿真似はせず、オリジナルで勝負」「知恵を出す」「元気良く飛跳ねる」「考えて働く」などから「電子申告」「平成維新・新撰組」「リサイクル」と例年になく多方面のお言葉を頂戴いたしました。

なごやかな雰囲気の中に時間も残り僅かとなったところで、丸喜化学工業(株)の佐々木部長の民謡「秋田大黒舞」の披露で最高潮に盛り上がり、森直樹社長の閉会挨拶でお開きとなりました。

牧野光昌
(クイックファイブ)



2004年
2月
の予定

28日(土)	第4土曜休み
24日(火)	編集会議 17時30分 光田昭男さん誕生日
23日(月)	営業会議 15時10分 生産会議 12時
21日(土)	倉庫掃除 8時30分 経営会議 7時30分
19日(木)	牧野光昌さん誕生日
18日(水)	桜井圭子さん誕生日
15日(日)	村田恒夫さん誕生日
14日(土)	第2土曜休み
13日(金)	飯田奈都子さん誕生日
11日(水)	建国記念日
7日(土)	第1土曜休み
2日(月)	誕生日会 (1、2月生まれの方) 12時



中国出張のーコマ

2004年1月3日~13日
中国担当: 齋藤



四川義信の幹部と共に



上海の協力工場展示室



長春は旭川と同緯度にある北国-18℃でした

書き初め
森松マンの今年の抱負

執念 前向き
チャレンジ精神 整理整頓
再生商品二点作る 仕事に一本
内務強化 意識改善
プラスチック 明元素
グリット新発売 整理整頓に心がけ作業スペース確保
時間厳守 オールラウンドプレーヤー
思いやりの心を忘れない 今こそ私
整理徹底 集中と選択
生分解性プラ元年 プラス思考でツキと呼び込む

「実行するんじ」

社長 森直樹



素晴らしいアイデアも形にすることができなければ絵に描いた餅です。

良い本を読んでも、また評判のセミナー・講演会を受講したとしてもその中身を実際試すなり、社内に広めるなりして行動を起こさなければ頭の知識だけで終わってしまいます。実行するということとはアイデアを出すことと同等であると私は考えます。ここで言う実行するというのは「自分で手を動かす」ことだけではなく、そのアイデアを実行可能な人によってもらう、またはやらせるということも含みます。

アイデアが沸く、というのは人間誰でも真剣に考えればそれなりに出てくるものだと思います。しかしそれが果たして正しいかどうか、やってみなければアイデアの時点では予想もしなかった問題点が出てきたり、さらに改善できる点も現れたりすることもあるでしょう。また逆にアイデアの時点でとても不可能だと思えていたことが実際やってみたら簡単に出来た、ということもあります。私自身、ふとした時に浮かんでくるアイデアはその時には素晴らしいものか、実行してみても、実行する前に出来ない理由か思い浮かび諦めるか、度々あります。

つまり思いついた直後のアイデアは不完全で、取るに足らないものがほとんどで、それらの中から本当に使えるもの、また不完全なものを改良、改善するために実行していくという循環が必要です。それらをどれだけ多く行えるかがその人なり、企業なりの将来性を映しているでしょう。

現在は知りたい情報は何でも取り込むことが出来る環境が整いました。

私自身それらを消化し、実行する以前に、たくさん情報を集めることで何処か自分は仕事をしているような錯覚に陥る事が有ります。肝心なのはそこから自分はそれを見聞きして、その結果何をしたか、どんな反応をしたかということです。

naoki@morimatsu.net

編集後記

2004年の幕が開け、サッカーの2006年W杯ドイツ大会のアジア1次予選が迫ってきました。昨年12月に組み合わせ抽選会が行われ、3大会連続出場を目指す日本は1次予選を、オマーン、インド、シンガポールと戦う事が決まりました。

アジア1次予選には32カ国が参加し、4チームずつが8組に分かれ、各組1位が最終予選に進出します。本大会へ出場するには、先ずはこの1次予選を勝ち抜かなければなりません。

2002年の日韓W杯は、開催国出場枠で予選は免除されていたので7年ぶりの予選参加になります。

1次予選最大の見所は、2/18(水)にホームで行われるオマーン戦です。オマーンは昨年、韓国にも勝った実力のあるチームなので、ここをどう乗り切るかが予選を通してポイントとなりそうです。

本大会へ出場し、再び日本中に感動の渦を巻き起こせるように、第1歩目の1次予選は完勝で勝ち上がってほしいと思います。

梅田 文康
(GMエキスパート)

「竜馬がゆく」

森 信之



正月TV番組「竜馬がゆく」を見た方は多いと思います。第一部から第四部まで9時間のワイド時代劇を見て、いろいろ感じるところがありました。

1、小泉首相や菅さん達・政治家の皆さんは、このドラマを見てどう思ったか？（彼等も少しは坂本竜馬を見習って欲しい）

政治家として国家大局の見地から体を張って戦って欲しい。

2、竜馬は薩摩人、長州人、土佐人が、自分の藩中心の小さな見で日本国の将来を憂えることに非常に危機感を持った、愛国の志士でした。個人が所属する狭い地域・土着的発想しか出来ない藩主老中が多すぎる、国際的に自国以外の海外をシッカリ見聞し、将来を見据えて方針を打ち出さないと、滅亡につながってしまいます。（企業にも同じことが言える）

3、昨年の波紋8月号に牧野さんが掲載していた「バカの壁」ではないが、竜馬は周りの人に何回も、何回も「新しい日本の体制を作ろう、武士も町人も農民も皆同じ身分の世の中を作ろう」と叫んでいた。命を狙われながら、スゴイ行動力だ。信念だ。執念だ。

「バカの壁」著者の養老孟司先生は「話せばわかるなんて大ウソ」と書いているが、坂本竜馬は友人・先輩・後輩に向かって、何度も、何度も情熱を持って、相手に分かるように、分かりやすく語っていた。最終的に「壁は破られ崩れて回りの人の心を動かしていったのです。あきらめないで、あきらめないで、執念深かったです。わたしも、坂本竜馬を見習いたいと思います。」

「何でもどうもナンデダロウ委員会」

「パチンコ&スロット」

光田昭男（クイックファイブ）



森松の周囲1キロ以内に、巨大なホールが3件も有り、駐車場は3件共に、850台〜1000台の駐車スペースを持ち、曜日問わず満員御礼になっている。イベント日となると朝7:15には約30名は並んで開店をまつており、プレイをしない私には約2時間も開店を待つことが理解出来ず、パチンコに詳しい人に聞いてみたところ、スロットにて1日で約20万の収入を得ることが出来ることを聞き、驚いてしまった。パチンコの好きな人の会話を聞くことは少ないことを感じる。以前に、パチンコの会話についていけず、（かかろ）が理解出来ず、パチンコをしたことがあるがやはり、儲けることは出来なかつた。小心者の私には、賭け事は向いていない事と、あんな音のうるさいところによくいられるなと感じてしまう。ストレス解消と聞くが、私はストレスを感じてしまう。

名古屋はパチンコの発祥の地と聞いており、名古屋市内のホール数を調べてみたところ、273件有る。ホールの多い順に中村区33ホール、中川区30ホール、南区には22ホールもあるようです。

静かなパチンコホールがあれば、面白いのでは？

「バレーボール今昔」

伊藤雅典（ニーズ）



私の息子ですが、自分に似て背が低いのに、今学校でバレーボール部に在籍して勉強そっちのけで生懸命クラブ活動をやっています。と言いつつも私もやつていました。しかし私のやつていたところと今ではバレーボールもいろんな意味で変わってきています。

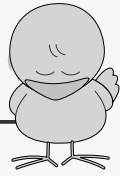
まずルール面はかなり変わりました。得点の入り方ですが、以前はサブ権のあるときにしか、点が加算されませんでした。今は、サブ権が移動するだけで、点が加算され、1セット15点制だったのが25点制に変わりました。確かに見ていて点が良く動くため面白みはありますが、前はプロクック時のワンタッチは攻撃本数の一本と数えられましたが、今はカウントされません。これは攻撃する上で、2本で返すのと、3本とは大きな違いです。それと、パッシングセンターラインと言って、センターラインを以前は踏んではいけないのが、線を踏み越えなければ良いということになりました。このルールの改正で相手プレーヤーとの接触プレーが発生するようになり、センターライン上で相手選手の足の上に乗ってしまうというような試合中の事故が起きるようになりました。先日のワールドカップでも日本選手が試合中に2名もやられ痛い思いをしています。

プレー面が変わったのは何と言ってもサブです。我々のころは、まず確実に入れることが第条件で無難にノー回転サーブが主流でした。しかし今は男子の場合は殆どと言って良いくらい、アタックサーブでいきなり勝負です。確かに無難にサーブを打って相手にチャンスボールを与えるよりは、安全性を捨て勝負するほうがまた見る側にとっては面白いかも知れません。

またレシーブ時のドリブルがかなり緩和されてきているような気がしますが、昔はサーブレシーブや強いボールをオーバーハンドパスで受けると絶対ドリブルを取られたものですが、今は見ていてあれっと思うシーンが何度もあります。

最後にバレーボールファンとしてというか、日本国民として思うのですが、我々がバレーボールをしていたころは、日本のバレーボールレベルはいつもトップレベルでオリンピック出場は当たり前でした。しかしこのころはオリンピック出場もできないようなレベルまで落ちてきています。まだ次回オリンピックは出場権を得るチャンスがあります。ぜひ次回のオリンピックには男女ともオリンピックに出場できるように祈っています。頑張れニッポン！

新入社員紹介



はじめまして。飯田奈都子（いいたなつこ）と申します。昨年11月に入社し、はや3ヶ月が過ぎようとしています。

私は、今月の13日で26歳になります。25歳になったばかりの頃は、「四捨五入したら30歳だ」などと言って、なんだか歳をとってしまったような気分になりました。けれども今は、自分はとても若いなあと痛感しています。なぜなら、社会で役に立つ経験や知識、責任意識などが私には欠けているからです。社会人になってたった3ヶ月で何を言っているんだ、と自分を叱咤する反面、学生時代の苦勞を100%否定したくはないことも事実です。

学部生時代の3回生のとき、私はオーストラリアのタスマニア大学へ交換留学生として派遣され、そして日本の大学を卒業後、タスマニア大学へ舞い戻りました。昨今の留学ブームに乗ってしまったような感もありますが、それでも貴重な体験を数多くすることができました。2年で終わるところを8ヶ月余分にかかってしまいましたが、論文を提出したとき、また論文が通ったときの達成感、表現のしようがありません。これからは社会人として、仕事をするうえで達成感を味わってみたいのです。今は、毎日の仕事をこなしていくだけで精一杯ですが・・・

私はまだまだ語学バカですが、それでも、今のところ私の強みは英語力しかありません。いつか、森松で仕事をするなかで役立てたいと思います。けれども帰国してから一年以上がたち、毎日単語や表現を忘れていくうちに、英語で物事を考えることも少なくなってきました。タスマニアでの生活もすでに、古き良き日々の思い出といった感じです。人間は「忘れる」という能力(?)において他の動物とは違う、と聞いたことがあります。私もタスマニアのことや英語を忘れていくんだなあと思うと、少し悲しくもあります。

なにはともあれ、これからよろしくお願いたします。



飯田奈都子（ニーズ）

「健康ですか?」

加藤雅昭（レインボーⅢ）



皆さん健康ですか？
先日面白いサイトを見つけました。その名も「若返りドットコム」。その中に米国抗老化医学会公認の寿命予測テストなるものがあります。各項目にチェックをしていき、最後に自分の余命時間が表示されます。自分は結構運動もしており、近頃は暴飲暴食もしなくなり(?)とても健康的な生活を送っているつもりでした。ところが・・・テスト結果は余命21年と3ヶ月4時間・・・え!??なんでやる?問題は睡眠時間だろうか、まだいろいろと調べてはいないが、このままではまずい。せめてローンを終わるまでは生きていらないと。いやいや孫の顔を見るまでは・・・今年からはもっと規則正しい生活をしていきます。

皆さんも一度テストをしてみてもいいですか?このままの自分の余命が分かりますよ。ちょっと怖いかもかもしれませんが、私は昨年末には余命60年を目指して今年一年過ごしていこうと思っています。皆さんも健康に生活できるようにこのサイトを利用して下さい。

他にもサプリメントの効果的用法、効能などが記載されています。用途別に各サプリメントを紹介していますので一度のぞいて見て下さい。

<http://www.wakagaeri.com/>
ではでは、健康な生活を。

